



資料館だより

No.20
2008年
9月号

過去と未来がひびきあう

ようこそ、エコミューズへ

www.aozora.or.jp/shiryou/



西淀川・公害と環境資料館

エコミューズ

イタイイタイ病 原因企業の立入調査に参加

富山県神通川流域。イタイイタイ病裁判で住民勝訴の判決が出された1972年から毎年1回、原因企業の神岡鋳業株式会社(当時:三井金属神岡鋳業所)の立入調査がおこなわれています。第37回目となる今年の調査に参加してきました(8月2日~3日)。あわせて、イ病の歴史を伝える施設「清流会館」(富山市婦中町萩島)を見学しました。



清流会館内のような様子

被害の救済と再発防止活動の拠点「清流会館」



立入調査で企業の説明を聞く

「清流会館」ではイ病の歴史的経過がわかるパネルや汚染土壌の復元事業を説明したコーナーなどがあります。この会館は被害者団体が自ら建設し、運営

している民間施設です。一方、イ病に関しては、行政が運営する施設はありません。被害者団体は、国と富山県にたいして、資料館の建設を要望しています。公害に関する資料をいかに保存し、将来へ役立てていくかは、エコミューズだけではなく、他の地域でも抱えている課題です。

カドミウムの濃度を自然界レベルに戻すまで

2日間の行程のうち、1日目は立入調査に向けての学習会、2日目が現場調査でした。110人の参加者が7つのグループに分かれて調査をおこないました。企業からの説明を受けて、質問をする学者たち。企業と住民、立場は違いますが、「環境をよくしていこう」という同じ思いが共有されているのを感じました。神通川のカドミウムの濃度は、あともう一歩で自然界のレベルになるそうです。また、農地の土壌改良事業は2011年で終了予定です。これまでの長い努力の積み重ねによる結果です。今後この歴史と取り組みから私たちは学んでいかなければならないと思いました。

西淀川の環境学習～セミ・菜の花・緑陰道路～ 「西淀川区は環境省のモデル地域！」 西淀川図書館での展示開催中(9月・10月)

西淀川では、様々な人たちが環境学習に取り組んでいます。

08年は環境省のモデル地域(国連持続可能な開発のための教育の10年モデル地域)になっています。菜の花を栽培してその油でクルマを走らせようという西淀川高校での「菜の花プロジェクト」、夏休みに子どもたちと大野川緑陰道路の自然度を調査するセミのぬけ



展示ケースで菜の花プロジェクトの紹介をしています

がら調べなど、いくつか取り組みを紹介しています。

期間 = 2008年9月2日(火)~10月30日(木)

休館日 = 9/8、9/22、9/29、9/30、10/6、10/14~10/20、10/27

開館時間 = 火曜日~金曜日 10時~19時

土曜日・日曜日 祝休日 10時~17時

場所 = 西淀川図書館(大阪市西淀川区御幣島1-2-10)

TEL 06-6474-7900

最寄駅 JR東西線 御幣島(みてしま)駅下車 出口スグ

会期中のイベント

ミニ風車で風を体験しよう

西淀川高校生と一緒に菜の花プロジェクト紙しばい、リサイクル工作をしよう

日時 = 10月25日(土)14時~15時

くわしくは、西淀川図書館にお問い合わせください

ボランティア隊「エコミュウ」活躍中

「エコミューズと一緒に活動してくれるボランティアさんがないかなあ」という望みを託し、5・7月の資料館だよりにボランティア募集の記事を掲載しました。お盆の頃、区内在住の大学生から「資料館便りを見ました。ボランティアがしたいです。」との電話が!!うれしいのは勿論のこと、この資料館だよりを通じて色々な人とつながることにジーンとしました。ボランティアさんは毎日通ってくれています。

また、東京経済大学の除本先生と尾崎先生、大阪市大大学院生の入江さんがエコミューズの資料を使って研究する中で、目録入力と一緒に進めてくれました。これも大助かりのボランティアです。

あなたも一緒に活動をしませんか?世界が広がりますよ。

もりもとまきの アーキビストの目 所蔵資料紹介



大きな夢を乗せた1号

はじめまして、資料整理アルバイトの森本米紀(もりもとまき)です。このコーナーでは、エコユーズ所蔵の、さまざまな資料を紹介しします。

今月は、『CRP NEWS』第1号(1996年3月)

「???」の方もいれば、「懐かしいなあ」という方もいらっしゃるでしょう

実はこれ、あおぞら財団の機関紙『libella』(リベラ)の創刊号なのです。

「CRP」とは、公害地域再生センターの頭文字(Center for the Redevelopment of Pollution-damaged

areas)。このころはまだ、「公害地域再生センター(仮称)設立準備会」と名乗っており「あおぞら財団」の愛称もありませんでした。

サイズはA4、片面1枚の二色刷り1ページ。リベラ最新号(2008年7月号)はA4サイズ両面6枚で計12ページもありますから、本当に、生まれたての赤ん坊といったかんじです。

第1号が伝えるのは、センター設立準備会の事務所開き。1996年2月7日、各界から100人を超える人たちがかけつけ、行われました。「公害被害者の運動の発展から生まれる環境保護団体の公益法人化は、全国で初めて」で、「行政・企業・住民が連携して、新しい発想による都市の再生をめざす」運動が注目されていることを伝えています。

『CRP NEWS』の名称はこの1号限りで、第2号からは『libella ニュース』。アーキビストとは、文書や資料の収集・整理・保存に関わる専門家のことです。



CRP NEWS 第1号(96年3月)

そして第15号(1997年5月)から、現在の『libella』となりました。この『CRP NEWS』は、たった1回だけの、けれど「公害地域再生」への大きな夢を乗せた1号なのです。

私がエコユーズに通い始めてまだ3ヶ月。これから西淀川公害を伝える皆さんの資料に触れ、見つけたもの、感じたことを、こちらで紹介していきたいと思います。よろしくお願ひします。



こんにちは新着図書です

あおぞら財団理事の植田和弘(京都大学大学院教授(環境経済学))に、「環境と福祉のまちづくり」プロジェクトを進めるにあたって、下記5冊の本をご推薦いただきました。

エコユーズにて貸出をおこなっていますので、興味のある方はぜひお問い合わせを。

- ・アマルティア・セン 福祉の経済学 - 財と潜在能力』岩波書店、1988年
- ・宮本憲一 環境経済学 新版』岩波書店、2007年
- ・パーサ ダスグプタ サステナビリティの経済学 - 人間と福祉と自然環境』岩波書店、2007年
- ・宇沢弘文 社会的共通資本』岩波新書、2000年
- ・広井良典 持続可能な福祉社会 - もうひとつの日本』ちくま新書、2006年

お知らせ

「エコユーズ活動資金(ハセムン基金)」

寄付協力をお願いしたい。あなたの寄付金は青空へつながります。

【口座番号】
10960193

千円 / 一万円 / 一十万円

加入者名「あおぞら財団」通信欄に「ハセムン基金」の寄付と記入ください。一口の金額はお選びください。

ボランティア隊「エコユーズ」募集

あなたも「エコユーズ」に入っちゃおう! 資料整理や展示イベントの手伝いなど活躍の場がいっぱいです。

交通費 実費支給(上限2000円)

どうぞお気軽にお問い合わせください。

西淀川 私の発見 まめ情報

喫茶サザンカ

「ひとめ印あります」のポスターが目を引き、あおぞら財団近くの喫茶店。西淀川区役所の目の前です。よくスタッフがランチに通っております。店内では写真展がおこなわれていたり、ときには落語会が開かれたりと、楽しいお店です(おかげで私はすっかり落語好きに)。先日は緑陰道路の勉強会で会場をお借りしました。マスターのブログ「サザマスズマ〜す」のひそかなファンです。(Y)

資料館だより No.20
2008年9月号(隔月1日発行)

発行所 あおぞら財団付属
西淀川 公害と環境資料館
(エコユーズ)
連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル5F(〒555-0013)
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
http://www.aozora.or.jp/shiryou/



エコユーズは 青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害 環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください。

開館 月曜日、金曜日(祝日は休み)
10:00AM ~ 5:00PM [要予約]

利用 図書の貸出し期限は2週間
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ